

講義名	統計調査法			授業形態	
担当教員	栗田 真樹	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

### 主題と概要

現代社会では、あらゆるところで数量データが多用されている。数量データは、現状の把握や将来の予測にはなくてはならないものである。また企業や組織のなかで問題提起や意思決定をする場合、データに基づいた客観性が求められる。データの中から必要な情報を正しく読み取って理解し、新しい知識を創造するためには、データの収集と分析、思考のための技法を身につけなければならない。そこで、どのような統計調査があり、どのように利用されているかを種々の統計調査を通して理解する。つきに調査によるデータ収集の具体的な技法を学び、自らの問題意識に基づいた研究計画の立案からデータの収集と分析、結論の導出、発表に至るプロセスを学ぶ。本授業では、統計調査に使える資料の探し方やデータのアーカイブを紹介し、調査の基本について学習する。それらのデータを使用し、自らの問題意識を調査データと結びつけ、仮説から結果の導出までを体験する。

### 到達目標

- ・統計データの種類、活用方法を理解できるようになる。
- ・問題の発見、仮説の設定、問題定義に至るリサーチプロセスを理解できるようになる。
- ・調査を計画、実施、分析、報告書作成に至る一連の過程を理解できるようになる。

### 提出課題

ほぼ毎回、授業内課題の提出を求める。  
中間期にレポート試験として、調査企画書（アンケート用紙作成を含む）の提出を求める。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各課題に対して、コメントする。

### 評価の基準

平常点、提出物(論文・レポートなど)、試験、復習課題、中間課題、期末試験の結果から総合的に評価する。  
配分は、平常点：40%、中間レポート試験：20%、期末試験：40%。

### 履修にあたっての注意・助言他

講義中の私語、不必要な携帯電話、メール等は厳禁です。このような行為がある場合、「講義妨害」と見做し、他の履修者の権利を守るため退室してもらうことがありますので注意してください。

### 教科書

.入門・社会調査法（第4版）：2ステップで基礎から学ぶ、	轟 亮、杉野 勇（編集）	法律文化社	2750	4589041413
------------------------------	--------------	-------	------	------------

### 参考図書

.創造の方法学、	高根正昭	講談社現代新書	936	4061455532
----------	------	---------	-----	------------

### その他

授業中にPPTを提示する。資料は授業前に配布するとともに、授業後は音声をキャンバスクロスにアップロードする。

### 授業計画

- 統計調査法とは  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 仮説の立て方  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 調査の準備（調査設計）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 調査の準備（項目）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 統計データの利用（アーカイブ分析1）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 統計データの利用（アーカイブ分析2）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 標本調査の方法：サンプリング  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 標本調査の方法：質問紙  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- データの回収とクリーニング  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- データの種類の  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 分析の種類（記述統計）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 分析の種類（推測統計）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 結果のまとめ方（仮説の検証）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）
- 結果のまとめ方（論議）  
予習：事前配布プリントによる学習（28時間）  
復習：授業内容の学習（28時間）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

統計調査の方法論を身につけ、それらを社会共創活動、ビジネス、援助に実践的に活用することができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義内での応答を、キャンバスクロスや学習支援システムを用いて可視化し、双方向授業実施を行う。

### 実務経験の有無及び活用

担当者は「専門社会調査士」資格を有しており企業・自治体等の調査を受託している。

### 備考